

連絡先： 国土交通省 自動車局 審査・リコール課リコール監理室  
 TEL： 03-5253-8111 内線 42354  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

## リコール届出一覧表

リコール届出日：平成25年 7月9日

リコール届出番号	外-1950	リコール開始日	平成25年 7月27日				
届出者の氏名又は名称	フォード・ジャパン・リミテッド 代表取締役 日本における代表者 森田 俊生	<table border="0"> <tr> <td rowspan="3">           製作国： アメリカ合衆国            製作者名： フォード自動車株式会社            問い合わせ先： お客様相談室            0120-125175         </td> <td rowspan="3">           〕         </td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>		製作国： アメリカ合衆国 製作者名： フォード自動車株式会社 問い合わせ先： お客様相談室 0120-125175	〕		
製作国： アメリカ合衆国 製作者名： フォード自動車株式会社 問い合わせ先： お客様相談室 0120-125175	〕						
不具合の部位	燃料装置（燃料ポンプ）						
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	燃料ポンプの燃料ホース取り付け部分において、樹脂部品の材質が不適切なため、燃料との接触面に微細なひび割れが発生する。ひび割れが拡大すると、燃料漏れにより燃料臭がしたり、エンジンへの供給量が低下する。最悪の場合、走行中のエンジンストールや火災が発生するおそれがある。						
改善措置の内容	対策品の燃料ポンプの準備に時間を要する事から、対象となる全てのお客様に対し、リコール実施のお知らせと注意喚起のダイレクトメール（第1信）を送送する。対策品の準備が整い次第、改めて、改善作業を実施する旨のダイレクトメール（第2信）を送送し、燃料ポンプを対策品に交換する。						
不具合件数	国内： 17 件	事故の有無	国内： 無し				
発見の動機	本国メーカーからの情報による。						
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用者：ダイレクトメール等で通知する。</li> <li>・ 自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌へ掲載する。</li> <li>・ 改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアストライカー付近に外-1950のステッカーを貼付する。</li> </ul>						

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
フォード	ABA-1FMHK8	「エクスプローラー」	1FM5K8D84DGA00073～ 1FM5K8F84DGB95007 平成24年1月31日～平成25年1月6日	618	13年モデル 3.5L
	ABA-1FMHK9		1FM5K7D95DGA15636～ 1FM5K7D99DGB65124 平成24年3月6日～平成24年11月12日	914	13年モデル 2.0L
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成24年1月31日～平成25年1月6日	(計1532台)	